

令和5年6月12日

公益社団法人日本アドバイザーズ協会

広告コミュニケーション領域におけるコンプライアンス遵守の徹底について

昨今、アドバイザーが広告活動を展開する中で、コミュニケーションの対象である生活者の皆様の広告業界全体に対する信頼を著しく低下させるような事象が度々発生していると認識しています。

アドバイザーは、広告コミュニケーション領域で発生した事象につき、生活者からの問い合わせに答え、ステークホルダーへの説明責任を果たす必要があります。

広告コミュニケーション活動は、アドバイザーだけで行うのではなく、代理店、制作会社、タレント事務所、クリエイター、メディアなどの多くの関係者の皆様とのパートナーシップ、お力添えによって成立しています。

生活者からの「広告業界に対する信頼」はコミュニケーションの基盤です。

信頼を得るには、広告コミュニケーション領域のプロセスも含むすべての活動について、「透明性」「公平性」を担保し、コンプライアンス視点を組み込むことが重要であると認識しております。

改めて、アドバイザーズ協会の各社のみならず、広告コミュニケーション領域に関わる関係各位とも、すべての活動でのコンプライアンス遵守の大切さを確認したいと考えます。

アドバイザーズ協会は、上記記載の内容の通り、生活者の信頼を得続けられるよう、今後とも業界の健全な発展に取り組む所存です。